

D O N C どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0006 津市広明町418
418, Komei-cho Tsu-shi
TEL 059-226-2766
FAX 059-229-0967

N° 77 septembre 2006 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

2006～2007 年越しをシャンゼリゼで

三重日仏協会創立20周年記念 フランス旅行

創立20周年記念事業の一環として、来る年末年始にフランスを旅行する計画が進み、会員やお知り合いの方の参加を呼びかけています。これまでも協会としてフランス方面に旅行を企画したことがありましたが、行きたくても休みが取れないという声があったため、今回はお勤めの人も参加しやすい日程にし、特にパリ市民のみならず世界の人々に人気の高い「シャンゼリゼでの年越しカウントダウン」の賑わいを体験しようというのがハイライトです。同時にここ20年、協会として続けてきた日仏交流の活動のなかで、「フランスにおける日本年」のラヴェル弦楽四重奏団とのコンサートを中心とした交流や、リヨン大学生の四日市での企業研修や三重大学留学を支援する活動など、人的にとりわけ縁の深いリヨンをまず訪れてゆかりの人々との旧交をあたためながら、美しいグルメの街リヨンを楽しみます。このあとパリに帰って大晦日、ここでもパリ在住の本会ゆかりの人々と同様の集いをもつ計画。航空機、ホテルなど交渉中ですが現在の凡その計画では：

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 12/28 (木) | 中部国際空港出発 (JAL予定) パリ経由リヨン着 (リヨン泊) |
| 12/29 (金) | 自由行動 夕刻より「交歓パーティー」(リヨン泊) |
| 12/30 (土) | TGVにてパリへ 自由行動 (パリ泊) |
| 12/31 (日) | 自由行動 夕刻「交歓パーティー」 新年カウントダウン (パリ泊) |
| 1/1 (月) | 自由行動 (パリ泊) |
| 1/2 (火) | CDG空港出発 名古屋へ (機中泊) |
| 1/3 (水) | 名古屋着 |

旅行費用 (旅費・宿泊費) は約28万円の見込み。詳細は滝澤事務局長まで。

2006年度総会 20周年記念事業などきめる

記念コンサートと「パリ祭」パーティーも華やかに

三重日仏協会2006年度総会と「パリ祭」パーティーは、実際の「キャトルズ・ジュイエ」よりは5日早い7月9日（日）、津都ホテルで開催されました。総会では理事会から提案された「20周年記念事業」を含む議案が原案通り承認されましたが、記念事業としてはフランス旅行（p1掲載）や本会会員の音楽家を中心とした記念コンサート「みえ日仏の音楽家たちⅡ」の開催、20年の歩みを振り返る〈どんく〉特集号の発行などが予定されています。

総会に続いて今年は「総会記念サロンコンサート」として、メゾソプラノの村林浩代さんの歌声を楽しみました（ピアノ伴奏・尾崎敦子さん）。村林さんは市内の小学校で音楽の教職につくかたわら本格的な声楽の勉強を続け、昨秋は「フランス音楽コンクール」に入賞するなどの実績をもつ声楽家で、この日も入賞曲であるマスネの歌劇「エロディアド」のなかのアリアなどオペラの名曲を見事に披露したほか、おなじみのシャンソン「パパと踊ろう」も歌って、会員以外にもたくさん来場していた聴衆を魅了しました。

このあと恒例の「パリ祭」パーティーでは、久しぶりに目だった新しい会員さんたちのほか、在県のフランス人、リヨンからの留学生や企業研修生などのゲストもふくめ約60人が参加、この春赴任された津市の藤原健朗助役の発声による乾杯でにぎやかな宴となりました。

今年の出し物の新機軸は運営委員の三吉さんが担当した、パソコンと大きなスクリーンを駆使してのクイズで、「シャンゼリゼのシャンはどういう意味？」「オルセ美術館はかつて何だったか？」などの出題に、参加者たちはフランス通ぶりを発揮していました。またいろんな賞品があたるトンボリ（福引）では、参加していたNHK津の望月アナに「FM三重」賞が当たったり、「ワインのウチャヤマ」提供のワインを「ウチャヤマ」のシェフ長田さんの坊やが引き当てるなど、爆笑を誘っていました。

なお、この催しに多くの賞品をご提供くださったパティスリー・ラ・パルム・ドール、ドミニク・ドゥーセの店、（株）ウチャヤマ、ほかの各位に厚くお礼申し上げます。



7/14 フランス総領事主催の「パリ祭」（大阪）

アラン・ナウム在大阪・神戸フランス総領事夫妻主催による「パリ祭祝賀レセプション」が、革命記念日当日の7月14日正午過ぎから大阪帝国ホテルで開催され、本会からは副会長井土が招かれて出席しました。会場には西日本の地方自治体首長、企業や各地の日仏協会関係者、研究者、西日本在住のフランス人ら数百人が参加し盛大なパーティーでした。冒頭あいさつしたナウム総領事は参加者の日仏交流への努力に謝意を表したあと、いま西日本に住むフランス人は1200人で昨年より30%増と急激に増えていることを明らかにしました。そして「私は2回目の赴任であるが、皆さんが暖かく迎えてくださって感謝している」と述べました。また20周年を迎えた三重日仏協会へは、「お招きがあればいつでも喜んで訪問したい」と約束されました。

●●● 7/15 メラニーさんと白川郷合掌造りの見学 ●●●

リヨン大学から日本の現代政治を研究テーマに三重大学に留学していたメラニー・フランソワさん（7月末帰国）の、できるだけ日本のさまざまな文化に触れて帰りたいという願いを実現してあげようと、本会会員の石井久二さんが白川郷日帰りツアーを計画、パリ祭の席でも会員に参加を呼びかけていましたが、7月15日（土）に実現しました。ツアーにはメラニーさんが誘った留学生仲間と本会会員ら20人が参加しましたが、留学生はなんと仏、中、韓、台、ブラジル、ギリシャ、コロンビア、ドミニカの計8カ国からの若者たちで、石井さん運転のマイクロバスはまさに国際的な空気に包まれました。現地の滞在時間は約3時間とあわただしいものでしたが、まず巨大なかやぶきの合掌造りの民家が林立する独特の風景を初めて車窓から遠望したときは期せずして歓声が上がりました。その後、花いっぱいの集落のなかを歩き、主な建物を見学して回りましたが、一同いろんな意味で忘れられない一日となったようです。



白川郷の「そば道場」で留学生たち

<Avec mes regrets>サルコジ議長より断りの親書

水屋神社 アルベールカーン庭園への分社実現せず

<donc>76号で紹介した松阪市の水屋神社（久保憲一宮司・本会会員）の社をパリ郊外アルベールカーン日本庭園に安置する計画について、本会も日仏文化交流の一環として支援する立場から、当該の立法機関であるオードセーヌ県議会ニコラ・サルコジ議長（兼フランス内相）に宛てて推薦状を送っていましたが、8月10日付けで豊田会長宛の返書が届きました。内容は、このような申し出を受けてたいへん光栄であるが、残念ながらフランスの関連法規に照らして不可能であるという、丁重な断りの文面で、同議長のサインに添えて自筆で<Avec mes regrets>「残念ですが」と書かれていました。同神社ではこの計画とは別にブルゴーニュ地方にある「光明院」というお寺の一角に祠を建立し、10月末には有志を募って「奉賛旅行」を行うことになっています（本会后援）。

年会費の振込みをお願いします。

遅くなりましたが年会費の振込用紙を同封いたしましたので、お手数ですが2006年度会費の振込みをよろしくお願いいたします。

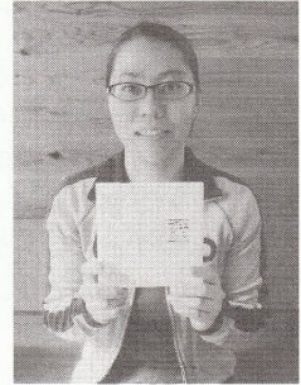
総会の会計報告でもわかるように、本会の財政はかなり窮屈な状態で積極的な事業の展開も危ぶまれます。このため各種の助成金の活用や、法人を中心とした賛助会員の勧誘なども視野に入れた対策の必要性が理事会の話題となりました。

なお今後、連続して年会費の納入がない場合、自動的に会報や案内等の発送をストップさせていただきますのでご了承ください。

中村裕美さんが「フランスabc」を上梓

昨年のパリ滞在経験をもとに

本会会員で、津市上浜町でお姉さんとともにcafee dolceを経営する中村裕美さんが昨年秋語学研修のためパリで生活した体験を中心に、9月初旬きれいな一冊の本にまとめ出版しました。タイトルは「フランスabc」、約15センチ四方の変形判96ページで、短い文章と豊富な写真とイラスト（一部カラー）はいずれもご本人の手になるもの、①留学②生活③観光の三つの部分からなっています。中村さんは「パリへ行く前から、帰ったら何か書こうと思っていましたが、初めての経験ながら本という形にすることができました。観光ガイドブックはあふれるほど出ていますが、私のようなフツウの人が3ヶ月でも向こうで生活し感じ見てきたことをなんとか伝えられたら嬉しい」と語っています。



会員の皆さんもぜひ購読してください。「フランスabc」は1冊1,260円。

問い合わせ、申し込みは著者の中村さん（059-246-5201）まで。

e-mail:dolce@ciao.biglobe.ne.jp

ホームページ:http://www5f.biglobe.ne.jp/~dolce/ では本の内容も一部見ることができます。

INFORMATIONS 短信

10/9(月・祝)

近藤綾子ピアノリサイタル

モーツァルト、シューマン、そして武満の残したもの

10月9日(月・祝) 14:00 ザ・コンサートホール(名古屋・伏見)

入場料は当日3,000円ですが、下記(ご本人)にfaxかe-mailで申し込むと本会会員は特に2,000円で求めることができます。

e-mail:Ayakoline@pop21.odn.ne.jp fax:052-735-0960

10/21(土)
22(日)

第1回 浜松シャンソンコンクール

音楽の町・浜松の日仏文化協会が「フランスを代表する音楽文化であるシャンソンを振興し、日仏相互理解を深める」ことを目的として今回初めて企画した催し。広く出場者を募集しています。21日(土)は歌唱部門(シャンソン2曲)、22日(日)はショー部門(シャンソンを含む15分程度のショーを構成する)となっており、申し込み締め切りは10月6日。予備審査があります。詳しいことは、電話053-585-3364、e-mail:<okasan2@za.tnc.ne.jp> 河野さんまで。

◆ <done> 20周年記念特別号の原稿募集 ◆

年末ごろ発行予定の<done>78号を、会の創立と本紙発刊20周年を記念する特別号として多くの会員の文章を掲載したいと思えます。創立当時の思い出や会の活動にかかわること、あるいは旅行などを題材とした随想ほか、「日仏」あるいは「フランス」に関連のある文章をお寄せください。長さは自由ですが、なるべく1,000字以内で、11月末までに下記へ送稿ねがいます。

fax: 059-229-0967

e-mail: apel-tu@themis.ocn.ne.jp

井土まで。